

048 シャローム等

◆シャローム (shalom)

ヘブライ語で「平和」を意味する言葉。ヘブライ語の挨拶のひとつである。正確に発音すれば、「シャローム」は、現代のイスラエルにおいては日常の挨拶—「こんにちは」、「さようなら」—用語である。日本では別れるときの挨拶として、「それでは失礼いたします」と言うが、イスラエルでは「シャローム」(豊かで溢れるほどの祝福があるように)と言う。

また、ヘブライ語のシャロームの本来の意味は、「単に、争いのない、平和な状態を表わすだけでなく、力と生命に溢れた動的な状態」を言う。シャロームが意味するものは、以下のようにきわめて豊かである。

- (1) 平和 (対国、対神、対人) . . . 和平、和解
- (2) 平安 (個人的) . . . 平穩、無事、安心、安全
- (3) 繁栄 (商業的)
- (4) 健康 (肉体的、精神的) . . . 健全、成熟
- (5) 充足 (生命的) . . . 満足、生きる意欲
- (6) 知恵 (学問的) . . . 悟り、靈的開眼
- (7) 救い (宗教的) . . . 暗闇から愛の支配へ
- (8) 勝利 (究極的) . . . 罪と世に対する勝利

◆ホサナ (hosanna)

ヘブライ語で、「救い給え」の意。「ホザンナ」「ホザナ」とも。イエス・キリストがエルサレムに入ったとき、民衆が祝って挙げた叫び。神を賛える言葉として、典礼の中で歌われる。

◆パルーシア : 「共に居ること」の意。

◆エレハマイ : 「到来」の意。→マタイ 6:10 『御国が来ますように』

◆マラナ・タ : ヘブライ語ではなく、アラム語。「私たちの主よ、来てください！」の意。

初代の教会において生まれた祈りの言葉である。

◆ハレルヤ (Hallelujah)

ヘブライ語由来の言葉で、「主をほめたたえよ」の意。

ユダヤ教の讚美の言葉に由来し、アーメン、ホサナ (オザンナ、ホザンナ) など共に、キリスト教に残る代表的なヘブライ語の祈りの一つでもある。

◆インマヌエル

「神は私たちとともにおられる」の意。本来、状態を意味するのではなく、「神性と人性が共にある存在」という意味。